

社協だより1月号【Vol.93】

元気がわら版

●発行日:平成25年1月20日

●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号

●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp



おせちお届け隊

年末の恒例となりました『おせちお届け活動』を12月29日～31日にかけて、全地域センターで行いました。お届けした数約480食。ボランティアさん約250人。

野菜、黒豆、椎茸、米、ゆずなどを提供いただいた方、調理や配達に協力いただいた方、一人ひとりの思いが年末の心温まる活動につながりました。



●目次

- P1…おせちお届け隊・目次
- P2…おせちお届け隊
- P3…おせちお届け隊
- P4…表彰・よろず相談・協力寄付金
- P5…元気報告 庄原・西城・東城・口和
- P6…元気報告 高野・比和・総領
里山の工業知(東城)
- P7…寄付金
- P8…地域のものごたり(総領)
広告・学生ボランティア募集

この事業は『赤い羽根共同募金配分金』の一部を活用し実施しています。

おせちお届け隊

年末年始に家族が帰省されず、買い物や調理が困難で、ご自身でおせちの準備が出来ない高齢者世帯を対象に実施しています。

調理



男の子も頑張る!



食べやすく切らなくっちゃ



学生が地域の高齢者を思い、作りました。



いっせいに盛り付け
みんなの力で完成です。

おせち完成です!!

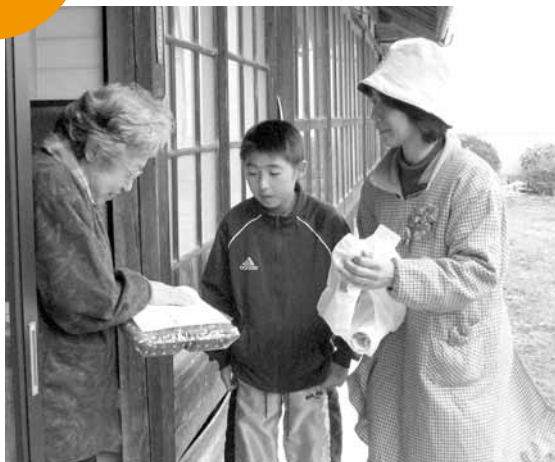
各地域で食材や盛り付けが工夫されています。

生徒がボランティアに参加してくれました。

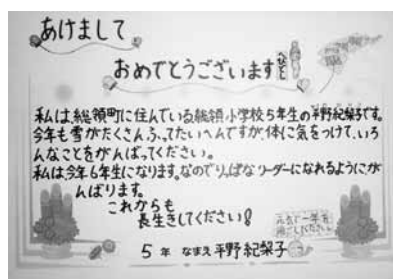
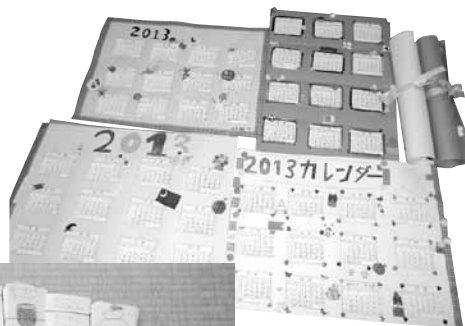


配達

体に気をつけて良い一年をお過ごしください。



可愛い配達員に顔もほころびます。



総領小学校5年生が、手紙と手作りカレンダーを作ってくれました。



庄原小学校4年生58名からの温かいメッセージを添えてお届けしました。



東城地域では、「こどももの館」に通う子ども達が上掛けを書ってくれました。

各地域で、庄原格致高校、庄原実業高校の



よろず相談の ご案内

◎一般相談 (13:30~15:30)

毎週水曜日 庄原地域センター
第1・第3木曜日 西城地域センター
東城地域センター
比和地域センター
第2・第4木曜日 口和地域センター
第1・第3水曜日 高野地域センター
第2・第4水曜日 総領地域センター
(9:00~11:00)

◎法律相談

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
2月1日(金)・15日(金) (13:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

◎多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
毎月第2木曜日 (13:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

◎ブライダルサポートセンター(結婚相談)

毎週月曜日・第1日曜日 (14:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

長年のご功績に感謝申し上げます

全国社会福祉協議会会長表彰・ 広島県社会福祉協議会会長表彰

長年に亘り地域福祉活動へ貢献された方、また、福祉関係職員として従事された方々に対し、表彰が行われました。これまでのご功績に対し感謝申し上げ、今後益々のご活躍を祈念いたします。(15年以上の経歴が対象)

【全国社会福祉協議会 会長表彰】

- 民生委員児童委員功労
政野 邦子氏(東城町)
- 社協・民間団体功労
竹島 靖明氏(西城町)

【広島県社会福祉協議会 会長表彰】

- 民生委員児童委員功労
田邊 丈司氏(口和町)
- 社会福祉施設関係功労
新丸 高弘氏(板橋町)
石川 壽萬枝氏(西城町)
有田 好隆氏(口和町)
- 社協団体関係功労
前田 正人氏(高野町)



庄原地域センター

0824-72-7120



私たち、僕たちにできること

庄原小学校の4年生の授業で福祉教育を行いました。11月29日と12月6日の2日間に渡り、車イス体験、高齢者疑似体験、点字ブロック体験、点字体験の4つの体験を通し、「困った人を見かけた時に、自分たちに何ができるか」について考え、発表し合いました。「目や身体の不自由な方が、どんな風を感じて生活されているのかがわかりました。僕は、困った人を見かけたら、“何かお困りですか？”と声を掛けるようにします」「私も、困っている人がいたら相手の気持ちになって、一緒に相談にのって、できることをお手伝いしたいです」など、児童から心温まる感想をいただきました。これからも福祉教育を通し、困った時はお互い様、みんなが笑顔で支え合い暮らせる地域を、一緒に考えていきます。



西城地域センター

0824-82-2953

出かけるきっかけに

新バンビの会は、1人暮らしの高齢者の方々を中心に家に閉じこもらず、地域へ出て仲間と一緒に明るく元気に暮らしていくことを目的に活動されています。西城町全域を対象に、“来るもの拒まず”希望者は、1人暮らしではなくても参加でき、新たな人とのつながりを大切に、交流会や旅行などお互いの親睦を深められています。

「バンビの会が始まった頃に比べて、集う場も地域に出かける機会も増えてきたように思います。また、地域で会った時にも声をかけ、この会ででの出会いを大切にしています。これからも地域に出かけて楽しみたいです」と会員さんは話をしてくださいました。改めて、集う場があり一緒に楽しめ語り合える仲間がいることの大切さを感じました。



東城地域センター

08477-2-0488

新しいサロン形態“生きがい創造型サロン”

今年度、新たに庄原市より委託を受け、モデル事業として始まった男性を中心としたサロン(女性も参加OK)です。経済活動を含む生産活動をすることで、生きがいや活躍の場を作り、地域全体の活性化も目指します。

東城地域でも「手仕事(てしごと)工房(こうぼう)」「川西中心で広域」・「再彩会(さいさいかい)」「竹森」のふたつのサロンが活動中です。「これは〇〇の木で出来ていて…」と、手作りの作品を説明される表情を見ると“やりがい”のある活動は男性をとってもいきいきとさせるものだと実感します。「自分が作ったものが人に喜ばれ、対価まで貰える！」自分の趣味や特技がそのまま生かせる活動は、次々と想像力も豊かになり、元気の継続につながるのではと期待しています。



口和地域センター

0824-89-2320

今年も喜楽塾でしめ縄作りを行いました

町内の石田涼也さんを講師に招き、昔とったきねづかを存分に発揮し、時間が経つのも忘れるほど皆さん集中。3回に分けて完成させました。中には「制作の遅れている仲間の為に」と、我が家で途中まで仕上げてきて下さる方もおられ、仲間同士の助け合いのもと、立派なしめ縄を仕上げることができました。

福祉センターの玄関へも飾り、地域の皆様にも好評をいただきました。





高野地域センター

0824-86-3044

“ふるさとの味” にちょっとお手伝い

高野町では、町内の特産物・加工品等を詰め合わせた「高野の逸品冬ギフト」を販売されています。

この度、高野支所から「ギフトに同封するしおり作成をサロンの方に協力してもらえないか」と相談があり、社協が関わっている「要支援サロン」の皆さんにお願いしたところ、「できるかどがなかわからんが手伝うよ」と、早速しおりづくりに協力。用紙を切り、パンチで穴を開けてひもを通し、最後に消しゴムで作った“雪の結晶”の印鑑を押して完成。「沢山の方に美味しい高野の味が届くといいね」「自分達も地域に協力出来る事があったね」と皆さん笑顔で頑張りました。

普段の生活では何らかの支援を受けながら、でも自分達に出来る事は何でもチャレンジする、そんな元気な要支援サロンの皆さんです。



比和地域センター

0824-85-2300

ゆめのいえで地域のみなさんと“おもちつき”交流

12月7日、寒い日にもかかわらず多くの皆さんが集まって下さいました。ゆめのいえの通所者も、最初はちょっと緊張気味でしたが、地域の方と一緒に作業するうちに、だんだんと顔もほころび笑い声が聞こえてきました。毎年のことながら地域の皆さんの息のあった作業は本当に素晴らしいと感じます。また、通所者へ「なかなか手際がよかったよ」と心温まる声をかけていただき、ほめてもらったことがとても嬉しかったと笑顔で話してくれました。優しい言葉は心を温かくし活力となるようです。

多くの方との交流でゆめのいえのみんながいきいきと生活できるように繋がりを深めていきたいと思っています。協力していただいた方々に感謝し、また、次回も多くの皆さんのご参加を楽しみにしています。



全員で記念撮影



「よいしょ～」



総領地域センター

0824-88-2796

わしらの元気が地域の元気!!

総領小学校2年生が、授業の一貫として総領地域センターを訪ねてくれました。

事前に、社協だよりや総領版広報紙を利用して学習されていましたが、特に総領版の“顔なじみの近所のおじいちゃん達”の記事に興味を持ったようです。

当日は、生きがい創造型サロン事業『ひょうたん茶屋』の開店日でもあり、おじいちゃん達に入れてもらったお茶を飲みながら、個々に様々なボランティア活動をしていること、茶屋では包丁研ぎやちょっとした小修理を行ない、住民の皆さんに喜んでもらっていることなどを聞きました。

集まってお茶を飲んでいるだけと思っていた児童は、おじいちゃん達の特技を活かし、生き生きと活動されている姿を目にし、幾つになっても役割があることの大切さを感じてくれたのではないかと思います。



里山の工楽知コーナー 【手仕事の楽しみ】

古い着物や古布がコースターなどに变身。ミシンを操り型紙無しでバックやポーチを手作り。紐を貫えば携帯ストラップや小物に变身。軍手はうさぎに。庭先にある植物の実を猿の顔に。あーでもないこーでもない夫婦仲良く折り紙を折ったり…。東城地域には、たくさんの“趣味の人”がおられます。

新しい材料も買うけれど、布も糸も紙さえも再利用し、形を変えて命を吹き込む名人達。冬場になると、外の仕事が減るので、室内で出来る手仕事がかどります。出来上がったものを人にあげると「喜ぶ笑顔でまた笑顔になれる」。冬を暖かくする楽しみごとです。



趣味の人代表、後藤ミチコさん101歳

元
気
報
告

市民レポート

地域のものがたり

地域の子ども達と私の夢の実現に向けて



市民レポーター 総領町神楽同好会 塚本 捷支さん

2年前、お祭り好きな保育所の子ども達が太鼓や獅子舞、御輿などを作って遊んでいたそうです。その当時の先生が、「子ども達に総領の神楽を体験させよう！」と言うことで、私たち総領町神楽同好会に話をいただき発表会で披露しました。

発表会が終わったあとも、子ども達は紙で面を作り、神楽を舞っていたそうです。この火を絶やすことなく続けられないかと相談を受け、小学生にも声をかけ月2回の練習が始まりました。

団員は3歳から10歳までの子ども8名です。練習の始まりと終わりは、礼儀作法にも厳しく、ちゃんと挨拶をして約束事の確認を行います。

神楽はもともと神能などから崩れたものと言われますが、特に私たちの神楽は歌舞伎の面や衣装を取り入れ、歌詞よりも台詞が多く、劇的な里神楽が多いと言われます。節回しや神歌、語り口調など子ども達は苦勞しているようです。また、それぞれの演目もあらすじを省略し、子ども達用にアレンジしています。今は“声を大きく”と指導していますが、自宅で練習してくる子どももあり、子ども達の上達の早さに驚いています。そして何より、子ども達への指導は私自身がとても楽しく、元気の源でもあります。このままでは消滅すると心配していましたが、地域の子どもや保護者が声を上げてくれ、将来的には総領町の備後神楽を継承してくれることを願っています。

予算はなく衣装は地域の方の手作りです。大蛇も保護者が作りました。すばらしい出来栄です。欲を言えばもっともっと団員が増えてくれれば、まだある演目を継承することが出来ます。

地域の皆様には色々な催しに声を掛けていただき、上演する機会をいただいておりますが、地域の伝統を継承しようと頑張っている子ども達に、これからも温かいご支援ご協力をお願いしたいと思います。



広告

**一人で悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

● 詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL.0824-72-2315 (要予約)

学生の皆さんへ

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか。ご希望の方は、庄原市社会福祉協議会へご連絡ください。